

	代表的 スケジュール (観点)	段階	「課題研究」の目標との関わり	実現が期待される 生徒の姿	A	B(標準)	C
1学期	知識・技能の収集 研究課題設定 研究計画策定	発見 ～深化	学びに向かう力、人間性	Bの内容	自分の好奇心・関心に基づき、課題意識を持ち、「問い」を解決の見通しの立つ課題にすることができる。	自分の好奇心・関心に基づき、課題意識を持ち、漠然とした「問い」へと導くことができる。	自分の好奇心・関心に基づき、疑問点を発見している。
			思考力、判断力、表現力	Bの内容	課題を解決するための、実現可能な研究手法を、複数挙げることができる。	課題を解決するための、実現可能な研究手法を挙げることができる。	問題を解決するための、実現可能な研究手法を検討できる。
			知識及び技能	Bの内容	目的に応じて情報を抽出し、研究に関連する分野に限定しない知識を習得し、自分の言葉で説明することができる。	目的に応じて情報を抽出し、研究に関連する知識を、自分の言葉で説明することができる。	目的に応じた情報収集ができています。
2学期	実験・協議等 中間発表会	深化 ～創造	学びに向かう力、人間性	Bの内容	解決の見通しを立てた課題について、複数の可能性から、自らの状況にあった手法を選択し、研究をすすめることができる。	解決の見通しを立てた課題について、自らの状況にあった手法を用いながら、研究をすすめることができる。	解決の見通しを立てた課題について、自らの状況にあった手法を探している。
			思考力、判断力、表現力	Bの内容	他のアプローチの可能性を示唆しながら、説得力のある理由や複数の根拠に基づいて、自分の考えを主張することができる。	説得力のある理由や複数の根拠に基づいて、自分の考えを主張することができる。	自分の考えを主張することができる。
			知識及び技能	Bの内容	直接研究に関わる知識だけでなく、研究を推進する深い知識を備え、適切に活用できる。	研究を推進する知識を備え、適切に活用できる。	研究を推進する知識の習得をしている。
3学期	ポスター作成 課題研究発表会 レポート作成	創造 ～発展	学びに向かう力、人間性	Bの内容	他者との対話が自身の理解につながるという意識をもち、質問や指摘を受けて、自らの主張を再検討することができる。	他者との対話が自身の理解につながるという意識をもち、質問や指摘を受けて、自らの主張を再検討する姿勢を備えている。	他者との対話が自身の理解につながるという意識をもち、質問や指摘を受けることができる。
			思考力、判断力、表現力	Bの内容	自己の研究を他者の視点で評価し、他者に分かりやすい形で再構成することができる。	自己の研究の全体像を理解し、自分なりの発表の形にまとめることができる。	フォーマットに則って研究内容を発表の形にまとめることができている。
			知識及び技能	Bの内容	聴衆の特性を理解し、質問の意図を正しく理解し、回答することができる。また聞き手として生じた疑問を質問できる。	聴衆の特性を理解し、質問を想定した準備ができる。また聞き手として生じた疑問を質問することができる。	質問を想定した準備ができる。また聞き手として疑問をもつことができる。
学年末	振り返り	発展	学びに向かう力、人間性	Bの内容	研究過程で、学んだことや気づいたことを、自己のキャリア形成に活かそうすることができる。	研究過程で、学んだことや気づいたことを、今後の活動につなげようとするすることができる。	研究過程で、学んだことや気づいたことを、認識することができる。
			思考力、判断力、表現力	Bの内容	研究過程を振り返り、自分の進路形成の中でどのように生かしていくかについて、自分の言葉で説明することができる。	研究過程を振り返り、自分の言葉で説明することができる。	研究過程を振り返ることができている。
			知識及び技能	Bの内容	研究内容に深い関心をもち、学習終了後もそれに関わる意欲をもち行動できる。	研究内容に関心をもち、自己に関わる問題として考察を巡らせることができる。	研究内容に関心をもちている。